

# 多面的に産地と取り組み

## 大正紡績

大正紡績では22日、野田和  
之社長が新たに就任した。

同社の綿短繊維産地との取  
り組みの中で、遠州（浜松）  
産地が質・量ともに群を抜い  
ている。それは、衣料テキス  
 Tail（ファッションおよび  
 カジュアル）業界から福田・  
 天竜社管内の別珍・コデユ  
 ロイ業界まで深く浸透して  
 いる。

大正紡は、最終消費者の顔  
が見える、ストーリー性のある  
糸作りに注力している。糸  
をベースに、ファッショ性  
や機能性を訴求していくもの  
だ。原綿あるいは混状、形状  
変化など多様な糸作りで、テ  
キスタイルの差別化中の「差

別化」を推進する。

糸と感性を提案すると同時  
に、販路作りにも関与してい  
る。このため、糸の売り場放  
しは全くない。「オンリー  
ー」を志向し、各原糸納入先  
には同じ種類の糸は出さない。  
浜松（遠州）での主な取り  
組み先は山崎、村松産業、田  
中織物浜松、友和、曳馬、信  
友浜松など。

オーガニックコットンが、  
エコロジーとファッショとい  
うコンセプトで今、話題に  
なっている。山崎は日本オー  
ガニックコットン協会の法人  
正会員となった。山崎と大正  
紡との名前を入れたラベル  
（写真）を貼付することにな

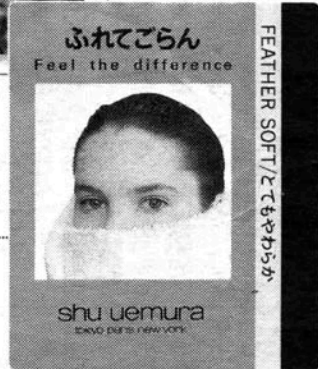
日本オーガニックコットン協会 法人正会員

(株) 山崎  
大正紡績 (株)

オーガニックコットン



④オーガニックコ  
ットンラベル（山崎と  
大正紡績）  
⑤無燃糸タオル—  
シュウウエムラの感  
じるタオル



100双から  
太番手までを  
使い展開。細  
番手ではシャ  
ツ、太番手で  
はパンツ向け

り、市場投入も近い。ハママ  
ツコレクション2005では  
すでにオーガニックコットン  
のテキスタイルを多数提案。  
予想以上の集客と話題を得た。  
トルファン綿を使ったムラ  
糸によるテキスタイルを、山  
崎ブランドとして「オサムビ  
ンテージ」と命名。シンパ  
エ綿とカシミアによる混紡  
（綿80%・カシミア20%）テ

キスタイルも展開している。  
村松産業の「ムラコット・  
カボセル」などには10年前か  
ら取り組んできた。最近では  
インド綿「スピル」によるカ  
ジュアルクロスを生地コンパ  
ーターとアパレルとの垂直的  
な取り組みを行っている。こ  
のほか、綿・ウールでのカシ  
ミアルテキスタイルもある。  
田中織物浜松は、スピルの

のテキスタイルで、アパレル  
のパバスと取り組んでいる。  
友和は、スピルでオックス  
フォードとウエザークロス、  
トルファン綿でミニヘリンボ  
ンによるパンツ生地や別珍を  
提案している。  
信友浜松は、トルファン綿  
を主に使って、コデデュロイ  
とカシミアテキスタイルを  
手掛けている。ムラ系「ラフ  
ユール」の糸の企画提案を川  
上・川中・川下のリンクの下  
で行い、付加価値作りによっ  
てテキスタイル業界の活性化  
と振興を図ることが、川上の  
紡績の責務だ」

大正紡の近藤健一取締役  
業部長は、次のように語る。  
「産地とのコラボ、あるいは  
アパレルとのコラボ、多角  
的・多面的なコラボによ  
り「メイドイン・オンリー  
ー」の糸の企画提案を川  
上・川中・川下のリンクの下  
で行い、付加価値作りによっ  
てテキスタイル業界の活性化  
と振興を図ることが、川上の  
紡績の責務だ」

「イー」や綿・カシミアの別  
珍、トルファンコデデュロイ  
などを含む。  
福田・天竜社産地の自販機  
屋である丸首織物、福田織物  
は、トルファン、スピル、  
「ギザ」などの綿を使ってい  
る。とくに福田織物は、これ  
らの素材をオーガニックコッ  
トン、竹、クス、和紙、サト  
ウキビなどと複合。自然と共  
生した新しい素材のテキスタ  
イルを開発している。とくに  
掛川特産のクズの複合は、新  
しい展開を期待させる。